Form No. 3394-602 Rev A

電動リール用ハーネスキット

Greensmaster® 3320 および 3420 TriFlex®トラクションユニット用

モデル番号131-8758

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車し、エンジンを停止させ、キーを抜き取る。
2. バッテリーから、マイナスケーブルを外す。
3. ROPSの左側のベース部分にあるバッテリー遮断スイッチを切り離してリール用バッテリーを回路から切り離す。
4. 左右のコンソールを固定しているフランジヘッドボルトを外して、コンソールを外す。

   注 フランジヘッドボルトと左コンソールは捨てないでください。右コンソールは廃棄してください。

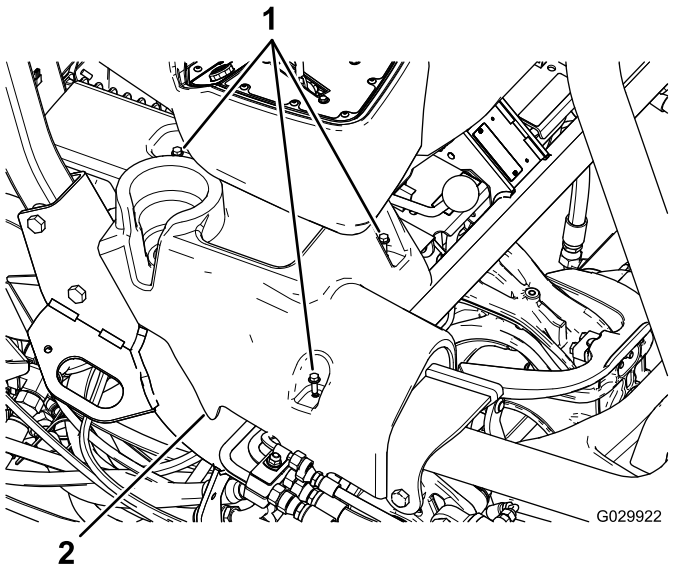

図 1
図は右コンソール

1. フランジヘッドボルト　　2. 右コンソール

5. 運転席を倒す。
6. アース用ブロックからアース用コネクタJ06とJ08を外す。
7. 既存のワイヤハーネスを固定しているケーブルタイを全部切断する。

   重要 電気コードや電装機器を傷つけないように注意してください。

8. ヒューズブロックを運転席下に固定しているブラケットを外す。

   注 ヒューズブロックはブラケットに組み付けたままにしてください。

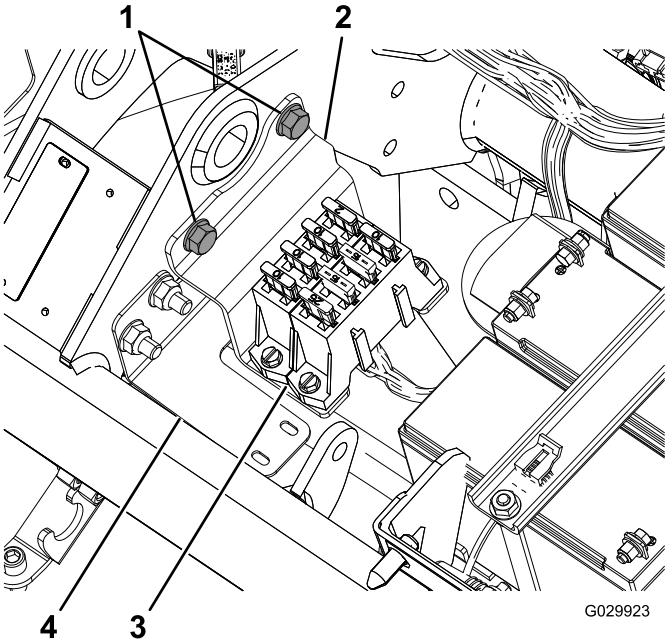

図 2

1. フランジボルト外して再利用　　3. ヒューズブロック
2. ブラケット　　4. ハーネスブラケット

© 2015—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3394-602 A

9. リールモータ3台からハーネスを外す各モータにコネクタが2つ。
10. ジェネレータエンジンの隣からプラグを外す。

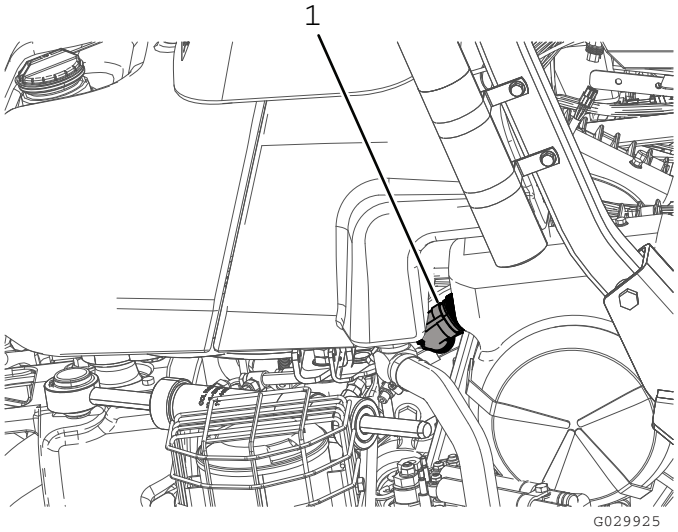

図 3

1. ジェネレータのプラグ

11. メインハーネス運転席下から、コネクタを2つCANバスインターコネクト用とメインハーネス用インタフェースを外す。
12. ロケーション ID モジュールP08を外す。
13. CANインタフェースモジュールP10を外す。
14. DC 48 V コンタクタの前側端子部にある Battery Side というラベルの付いたワイヤとバッテリー遮断用のワイヤ119-1784を外す。

    注 バッテリー遮断用のワイヤは、新しいハーネス122-0523を取り付けるまで、DC 48 V コンタクタから外しておいて構いません。
15. DC 48 V コンタクタから、メインコンタクタコイル用のコネクタ2個を外す。
16. DC 48 V コンタクタから、スイッチ側のパワー線J07を外す。
17. 電動リール回転許可リレーのコネクタを外す。
18. 10A 58 V ヒューズから端子を取り外す。
19. ワイヤハーネスを外して廃棄する。

ワイヤハーネスを配設する

1. 新しいワイヤハーネスを配置するジェネレータへ向かうラインが後フレームの右側を通り、ヒューズブロックを ROPS のブラケットに取り付けるのに十分なだけの余裕を持たせるようにする。
2. 運転席の下にあるメインハーネスに沿って新しいハーネスを敷設する。
3. 運転席下のヒューズブロック用のブラケットにハーネスが嵌るようにハーネスを曲げる。

   注 ハーネスブラケット120-4570の形状に合わせてください図 2を参照。
4. フレームのメインチューブの下にハーネスをを押し、リール用バッテリーの前まで導く図 4。

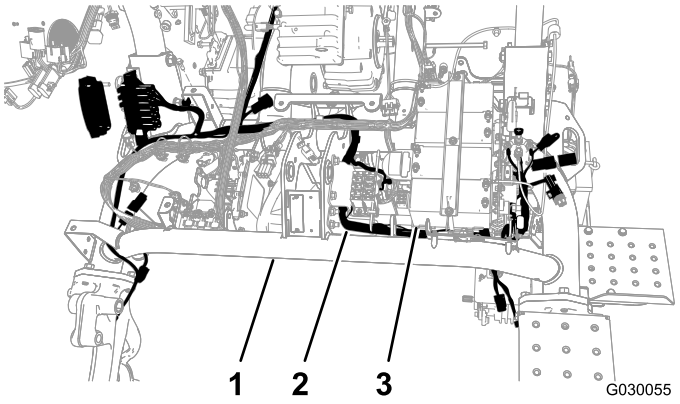

図 4

1. メインチューブ
2. ハーネス
3. リール用バッテリー

5. バッテリープレートの反対側と左フレームチューブとの間を通ってハーネスを戻す。
6. フレームの間からハーネスを引っ張る。

   注 DC 48 V コネクタの下や周囲にハーネスを這わせた状態でスイッチ側コネクタを取り付ける十分なスペースがあります。
7. ハーネスブラケットにハーネスを固定するプッシュマウントとケーブルタイを使用図 5。

   注 古いプッシュマウントがまだ穴についている場合は外して廃棄してください。

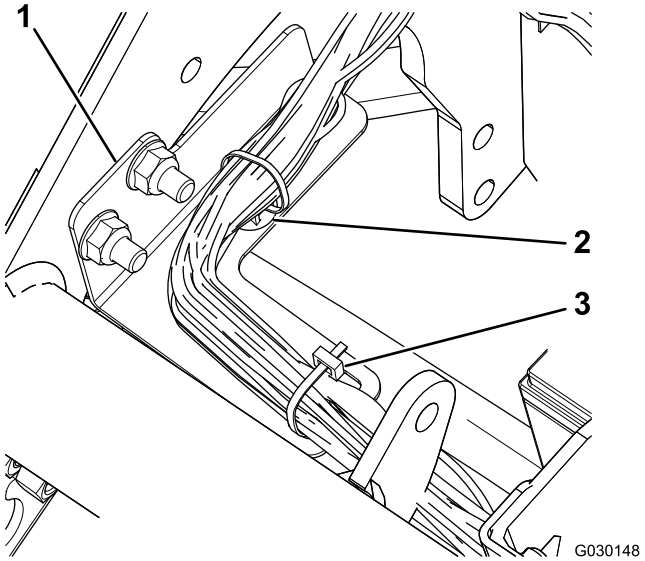

図 5

1. ハーネスブラケット
2. プッシュマウント
3. ケーブルタイ

8. ハーネスにあるジェネレータ用インタフェースを、エンジンの隣にあるジェネレータの端子に接続する。

   注 モデル 04530ガソリンエンジンでは、ジェネレータは機体フレームの中央にあります図 6 モデル 04540ディーゼルエンジンでは、ジェネレータは機体フレームの外側にあります図 7。

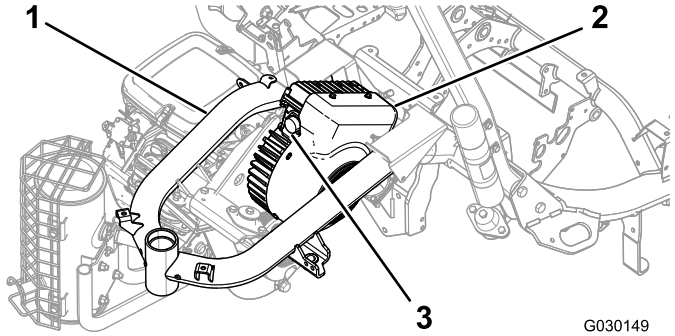

図 6

モデル 04530

1. フレーム
2. ジェネレータ
3. 端子

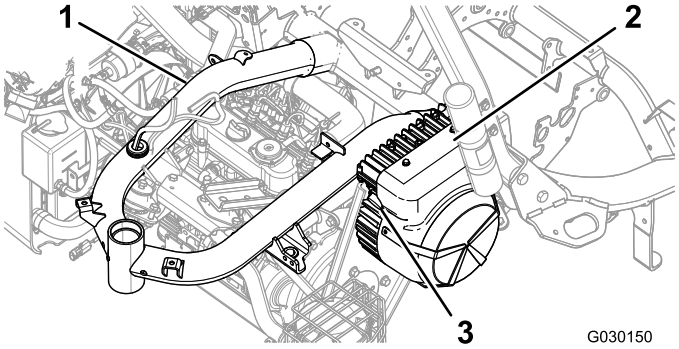

図 7

モデル 04540

1. フレーム
2. ジェネレータ
3. 端子

9. ジェネレータのインタフェースのリングをゆっくり右に回してもう一方のコネクタに合わせて接続を固定する。

   重要 端子を完全に接続してください。接続がゆるいと異常に発熱して損傷する恐れがあります。

10. 各端子を対応するリールモータに接続する。

    注 コネクタ同士がカチッと音を立てて接続するのを確認してください。

11. 10A 58 Vヒューズ赤線と黄色線に付いているキャップをはずして廃棄する図 8を参照。

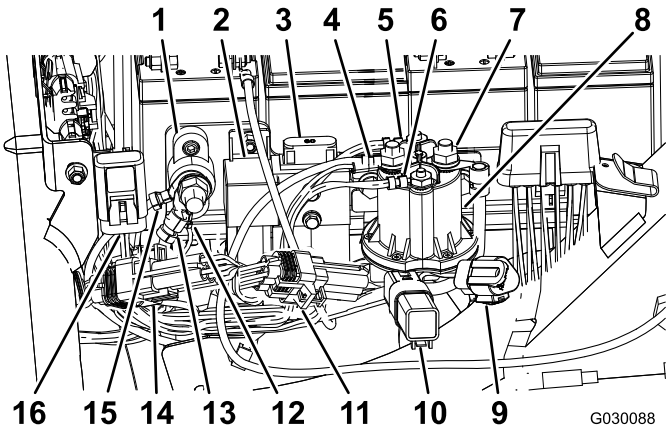

図 8

1. アース端子ブロック
2. 電動リール回転許可リレー
3. 電動リール用ヒューズ 60A-58V、既存
4. バッテリ側電源線ゴムカバーは図示せず
5. メインコンタクタコイルのコネクタ白
6. メインコンタクタコイルのコネクタ茶
7. スイッチ側電源線ゴムカバーは図示せず
8. DC 48 V コンタクタ
9. 電動リール用CAN 診断ポート
10. 保護用ダイオード
11. IDモジュール
12. ハーネスのアース線
13. ハーネスのアース線
14. CANインタフェースモジュールP10
15. 電動リール用バッテリーのアース
16. 10A 58V ヒューズ

12. 10A 58V ヒューズ付きの端子を、機体フレームに取り付けてある既存のキャップに挿入する。
13. 電動リール回転許可リレーのコネクタP07を接続する。
14. ハーネスについているスイッチ側コネクタJ0790度の角度が付いているを、DC 48 V コンタクタの後部端子に接続固定する。
15. ワイヤを、DC 48 V コンタクタのフランジの下に通す。
16. メインコンタクタコイル用のコネクタ2個を、DC 48 V コンタクタに接続する。
17. Battery Side と表記されているワイヤとバッテリー遮断用のワイヤとを、DC 48 V コンタクタの前部端子に接続する。
18. スイッチ側電源線のコネクタの端子部とバッテリー側コネクタの端子部にゴム製のカバーを取り付ける。
19. ID モジュールP08を接続する。
20. CANインタフェースモジュールP10を接続する。
21. 新しいハーネスのコネクタを2つCANバスインターコネクト用とメインハーネス用を、マシンのメインハーネス運転席下の2つの端子に接続する。

22. ヒューズブロックを取り付ける。ハーネスはブラケット裏側に通す図 9。

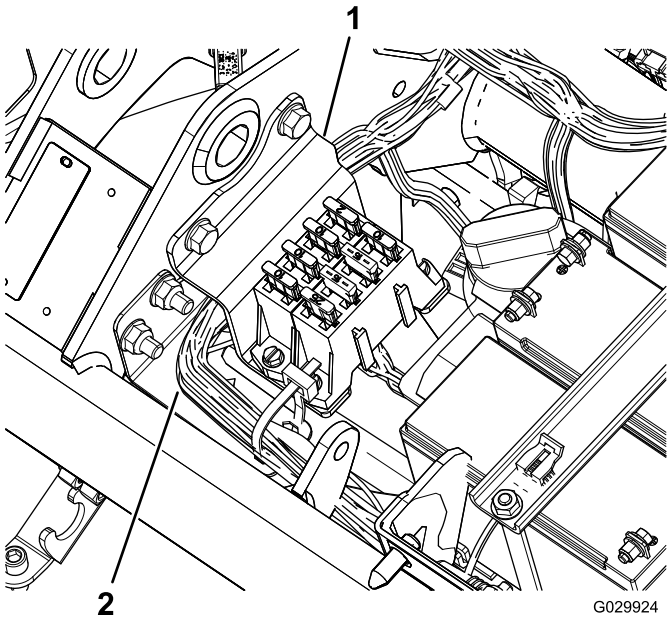

図 9

1. ブラケット
2. ワイヤハーネス

23. アース用コネクタJ06とJ08を、アース用ブロックに接続する。
24. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをメインハーネスとフレームに固定する。

重要 ワイヤハーネスのどの部分も可動部から十分に離れていることを確認してください。

25. ハーネスを、燃料タンクのブラケットの後ろと前で機体フレームに固定する。
26. ケーブルタイを使って新しいハーネスを固定する。

重要 どのワイヤも運転席に押しつぶされない位置にあることを確認してください。

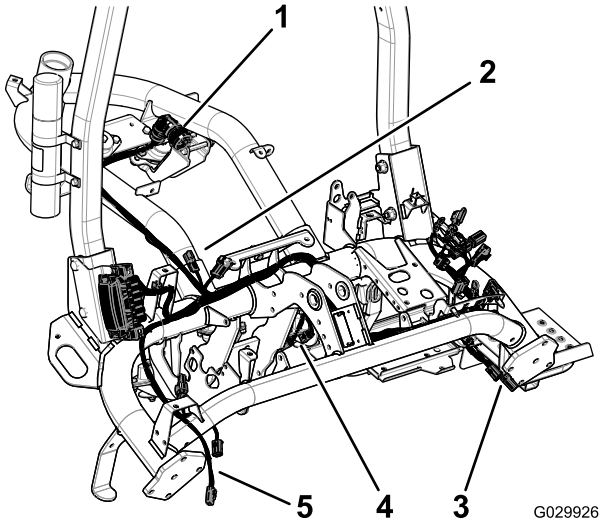

図 10

1. ジェネレータのプラグ
2. メインハーネスへ
3. 2番リールへ
4. 1番リールへ
5. 3番リールへ

ヒューズブロックブラケットを取り付ける

1. ROPSの右側を機体フレームに固定しているナットとボルト各2をゆるめる図 11。

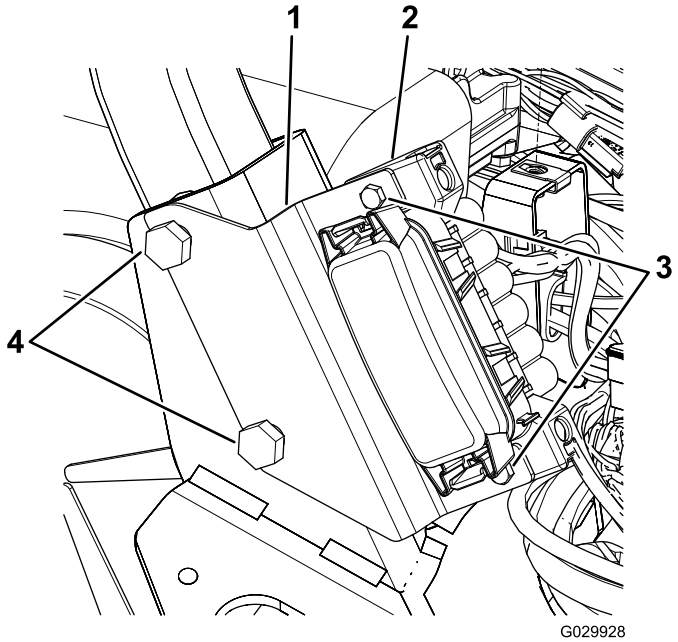

図 11

1. ブラケット
2. ヒューズブロック
3. ねじ
4. ROPS ボルト

2. 図 11 に示すように、ヒューズブロックブラケットのスロットをボルトに整列させる。
3. ROPSボルトを136149N·m13.815.2kg.mにトルク締めする。

4. ねじ2本で、ヒューズブロックをブラケットに固定する図 11。

サイドコンソールを取り付ける

1. 新しい右コンソールのボルト穴を、機体のボルト穴に合わせる図 12。

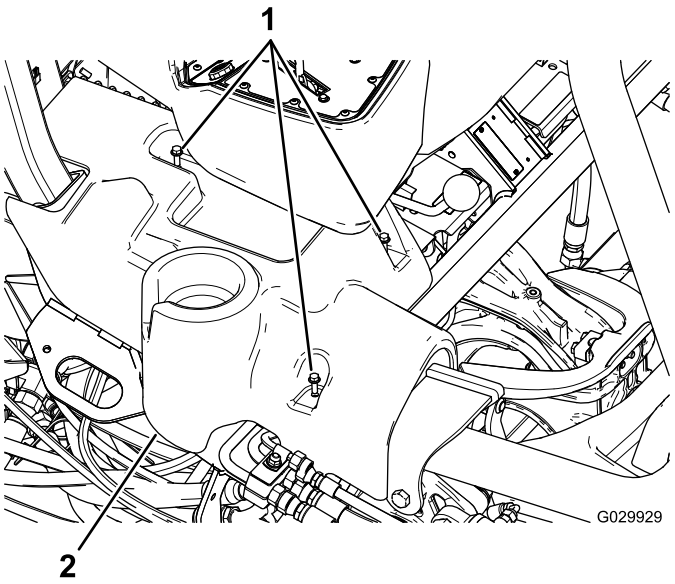

図 12
図は右コンソール

1. フランジヘッドボルト　　2. 右コンソール

2. 既存の左コンソールのボルト穴を、機体のボルト穴に合わせる。
3. サイドコンソールを固定する既存のフランジヘッドボルトを使用する。

メモ

メモ



Count on it.